

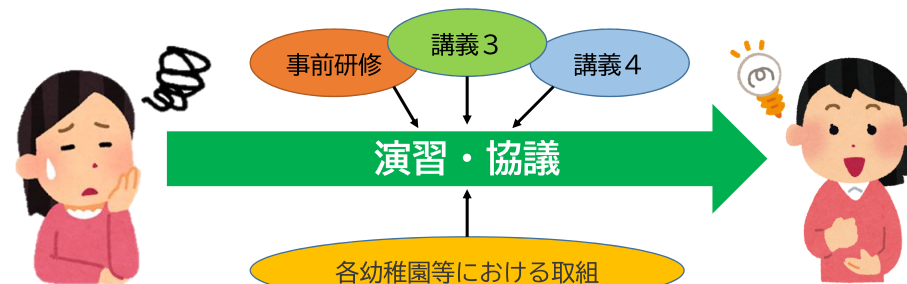
演習・協議 「幼児の立場に立った指導や支援 の充実に向けて」

令和6年（2024年）10月11日（金）14:50～16:20
北海道立特別支援教育センター
主任研究員（肢体不自由・病弱教育室）大 西 修

1

本演習・協議の目的

- 困難さの背景要因に目を向けた上で、幼児の特性に応じた指導や支援方法を検討する。



2

内容

- 1 幼稚園等における特別支援教育の推進
- 2 演習・協議の進め方
- 3 演習・協議
- 4 全体交流
- 5 まとめ

3

- 1 幼稚園等における特別支援教育の推進

4

(1) 特別な教育的支援を必要とする幼児の有無

項目	種別	年度	幼稚園 (n=17,910人)	小学校 (n=123,048人)	中学校 (n=67,569人)	高等学校 (n=72,327人)	全体 (n=280,854人)
要支援者数		R5	1,707人	12,132人	2,510人	732人	17,081人
		R4	1,587人	11,289人	2,179人	585人	15,640人
		R3	2,240人	10,146人	1,966人	643人	14,993人
		R2	2,128人	9,995人	1,838人	728人	14,689人
		R1	1,752人	11,031人	2,412人	809人	16,004人
		H30	615人	9,832人	2,114人	745人	13,306人
在籍者数(n)に占める割合		R5	9.5%	9.9%	3.7%	1.0%	6.1%
		R4	7.4%	8.8%	3.1%	0.8%	5.3%
		R3	6.7%	7.7%	2.7%	0.8%	4.8%
		R2	6.1%	6.9%	2.4%	0.9%	4.3%
		R1	6.5%	7.4%	3.1%	0.9%	4.7%
		H30	8.0%	6.5%	2.6%	0.8%	4.1%

(nは在籍者数)

「令和5年度（2023年度）『特別支援教育体制整備に関する調査』の結果」
北海道教育庁学校教育局特別支援教育課（令和6年）

5

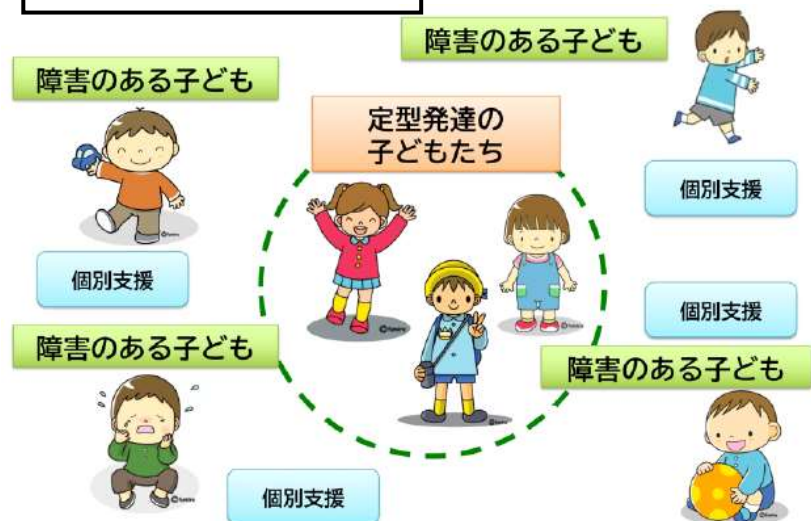
(2) 本道の特別支援教育の方針

北海道では、障がいのある子どもと障がいのない子どもが**ともに学ぶ共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの理念**の下、全ての子どもたちが、障がいの有無にかかわらず、**多様な個性を互いに認め合い、支え合いながら、ともに学んでいくことができる環境を醸成**し、誰もが生き生きと活躍できる社会が実現するよう、特別支援教育を推進しています。

「特別支援教育に関する基本方針 令和5年度～9年度（2023年度～2027年度）」
北海道教育委員会（令和5年）

6

(3) インテグレーションとインクルージョン



「保育園・認定こども園・幼稚園における特別支援教育と切れ目ない支援」
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所（令和4年スライド）

7

(4) インテグレーションとインクルージョン



「保育園・認定こども園・幼稚園における特別支援教育と切れ目ない支援」
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所（令和4年スライド）

8

(5) 幼稚園等に求められること

障害がある子供を担当している認定こども園・幼稚園・保育所等の担当者は、子供と接する時間が長く、学習面や行動面における特別な教育的支援が必要なことに早期に気付くことが可能である。他方、障害のある子供にとって、集団の中での子供同士の関わりにより成長・発達が促されたり、保護者自身も、他の保護者との関係を築いたりする中で相互理解が深まったりするなど、認定こども園・幼稚園・保育所等の意義は大きい。

「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実にむけて～」 文部科学省（令和3年）

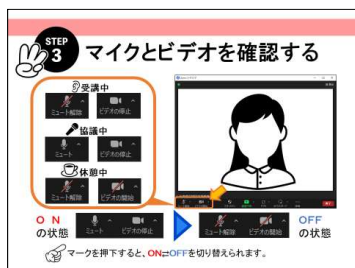
9

2 演習・協議の進め方

10

○ 演習・協議の進め方

- ・Zoomのブレイクアウトルーム機能を活用して、4人グループで協議を行います。
- ・16:10になると全体のミーティングに戻ります。グループ内で時間を確認しながら進めてください。
- ・機器の接続などで困ったときには、チャットで教えてください。当センター所員が入室します。



11

(1) 協議の流れ（1～3グループ）

- | | |
|-------------|---|
| 15:10～15:15 | ステップ1 個人思考（5分間）
協議シートでの整理・記入 |
| 15:15～15:30 | ステップ2 交流（15分間）
自己紹介
現状と課題の発表・交流 |
| 15:30～16:10 | ステップ3 協議（40分間）
内容①及び②について
具体的な改善策の検討
取組に関する情報・意見交換 |
| 16:10～16:13 | ステップ4 個人思考（3分間）
ワークシートに記入 |
| 16:13～16:20 | ステップ5 全体交流（7分間） |

12

(2) 協議シートの説明

令和5年度（2023年度）特別な教育的支援を必要とする幼児を支えるための幼稚園コース

協議シート【管理職グループ】

1. 個人ワーク【整理と記入】（5分間）	
① 特別な教育的支援を必要とする幼児に対する指導・支援の現状と課題	② 幼児教育と小学校教育の接続に向けた現状と課題
2. グループワーク①【交流】（20分間）	
他の受講者と共通する現状や課題	
3. グループワーク②【協議】（40分間）	
協議の柱	協議内容
ア 特別な教育的支援を必要とする幼児に対する指導・支援の充実	イ 幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた取組
4. 個人ワーク【協議のまとめ】（5分間）	
今後、取り組むことをまとめる。	

<ステップ1>
「現状と課題の記入」

<ステップ2>
「現状と課題の交流」

<ステップ3>
「協議の柱に沿った協議」

<ステップ4>
「協議のまとめ」

13

ステップ1・2 現状と課題の記入と交流

1. 個人ワーク【記入】（5分間）

ア 特別な教育的支援を必要とする幼児に対する指導・支援の現状と課題	イ 幼児教育と小学校教育の接続に向けた現状と課題
-----------------------------------	--------------------------

<ステップ1>
「現状と課題の記入」

課題を箇条書きで書く。

2. グループワーク①【交流】（15分間）

他の受講者と共通する課題や参考となる取組

<ステップ2>
「現状と課題の交流」

グループの他の方の課題をメモする。

1. 個人ワーク【現状と課題の記入】（5分間）

ア 特別な教育的支援を必要とする幼児に対する指導支援の現状と課題

イ 幼児教育と小学校教育の接続に向けた現状と課題

2. グループワーク①【交流】（15分間）

・司会、発表者の決定 ・自己紹介 ・交流



14

ステップ3・4 協議と協議のまとめ

3. グループワーク②【協議】（40分間）	
協議の柱	協議内容
ア 特別な教育的支援を必要とする幼児に対する指導・支援の充実	イ 幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた取組
4. 個人ワーク【協議のまとめ】（5分間）	
今後、取り組むことをまとめる。	

<ステップ3>
「協議」

改善策のほか、参考になった取組や情報交換した内容をメモする。

<ステップ4>
「協議のまとめ」

3. グループワーク②【協議】（40分間）

ア 特別な教育的支援を必要とする幼児に対する指導支援の充実

イ 幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた取組

4. 個人ワーク【協議のまとめ】（3分間）



15

3 演習・協議

16

(1) 協議の流れ（１～３グループ）再掲

15:10～15:15 ステップ１ 個人思考（５分間）

協議シートでの整理・記入

15:15～15:30 ステップ２ 交流（15分間）

自己紹介

現状と課題の発表・交流

15:30～16:10 ステップ３ 協議（40分間）

内容①及び②について

具体的な改善策の検討

取組に関する情報・意見交換

16:10～16:13 ステップ４ 個人思考（３分間）

ワークシートに記入

16:13～16:20 ステップ５ 全体交流（７分間）

17

4 全体交流

18

ステップ５ 全体交流

◆ 各グループから１人ずつ発表（１グループ２分間）

ア 特別な教育的支援を必要とする幼児に対する指導・支援の充実

イ 幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた取組の充実



19

5 まとめ

20

特別な配慮が必要な幼児への対応

- 集団の中で生活をするを通して全体的な発達を促していくこと。
- 個々の幼児の障害の状態に応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行うこと。
- 家庭、地域及び医療や福祉、保健等の業務を行う行政機関との連携を図ること。
- 個々の幼児の実態を的確に把握し、個別の指導計画を作成し、活用すること。

「幼稚園教育要領第1章総則第5」文部科学省